

様子に注意して、夢であつたことを強調する等、適當に和らげる注意が必要だと思ひます。まして、殊更に教訓めかすことは不要であります。

兎吉のお母さんの病氣 これも第二輯に載る筈であります。兎吉のお母さんがねむれない病氣になります。それをきいた兎吉のお友達狸のボン吉君と雀のちゆう子さんが腹づつみと唱歌でいゝ氣持にさせてねむらせてあげます。それで病氣もすつかりよくなつて皆で御馳走をいたゞいてお祝したといふお話。病氣といふ題であります。内容的には題から受ける暗さは少しもなく、和やかさ、ほゞなましさ、あたゝかさを感じさせるお話です。

鼠の餅ひき もう明日はお正月といふのに鼠の家にはお餅が一片もありません。皆で探してゐる中にお茶の間の天井の眞中に大丈な紙袋に入れて吊してあるのをみつけました。このお餅をどうしてとり、どうして引いていつたでせうか。これを中心にお話がすゝめられます。子供達も一しよに考へるでせう。そして鼠の根氣と工夫に感心し、うれしがることです。鼠の習性を必しも忠實に寫してゐるわけではありませんが、さういふ點に子供達の眼をむけてゆく一つの媒にもなり得るかと思ひます。

手
技

科學的なおもちゃ

及川 ふみ

十一月の手技に科學的なおもちゃを少しかき出したのであるが、十二月も寒さがおひおひに加はつてきて保育室内で遊ぶ機会も多いので、室内遊びのおもちやとして科學的なものを二三あげて見る事にする。

この前には風車をとりあげて、その取扱ひ方を述べておいたがこの他に日常幼児たちにしたしみの多いおもちゃとして作られるコマもこの意味でのよいおもちゃの一つである。

紙コマ

畫用紙或は古はがきを材料としての紙コマは直徑八センチ、五センチ、三センチの三枚の圓をはり合せて丈夫なコマを作る。三枚重ねるのは中央を丈夫にするためである。この時にコマの圓は正しく丸く切りぬかれていないと平均がとれないでよく廻らないのであるから、圓の切り方に吟味する事と、中央の穴が心棒より小さい目にあける事、心棒の長さが適當であるといふ事などはいづれもコマがよく廻ることの條件となるのであるからこれ等のことに保母が注意して作らせるのである。

幼児達の作ったコマがよく廻れば丸が奇麗に切れたので、よくまはるとか、心棒がしつかりついでゐるからよいとか、こゝで簡單に批評する事によつて幼児達の注意をむける事になるのである。

これと反對に廻りの悪いものが出来れば、幼児と一緒に、どの點が悪いのでよく廻らないのか、しらべて見てなほすとよい。故障なしに出来る時よりも、作り直してよく出来た時にこそ作らせる方の目的が充分達せられた様に思はれる。

又今コマの作り方だけでなしに、これに色をつける事によつてもいろ／＼と経験させる事が出来るのである。コマの色のぬり方を、中心から放射状に二色、或は三色にぬり分けておくと廻せば今までの色のちがふ色になつて見える事なども注意して實際にさせて見るとよいのである。

お皿の果物

次に古はがきを縦を二つ折にして、一面にはリネオなどの果物を、一面は色で縁どりにしたお皿にしておく、二枚の間の中央に古水引の紐をはりこんでおく。両端の紐を左右に引きながら廻すとお皿の中にリネオがある様に見える。手輕に出来る幼児たちのよいおもちゃである。夏の講習に、この種のもので一面を水草に、一面を金魚にしたのであるが、これと同様な作り方で、鳥籠を一面に、鳥を一面に、又、花と蝶々などという／＼に考へて作られる。この時に上下のあるものは、これをはる時に心得てはらなければさかさまに見える事である。この事も一つのよい経験であるのである。

織紙

數を實際に數へて作るものうち幼稚園の特技として古くからあるものに織紙がある。織紙として作られてゐる伊興証紙のものは、色も美しく、出来上つたものは紙ばさみなどとして利用して幼児たちがよるこぶものであるが、この材料が手に入らない時には、古はがきを二色にぬりつぶして、五行或は七行位に切つて織紙の材料として使ふとよい。たゞ織紙は行數があまり多いのは

作るのに面倒であるからせい／＼七行位までよい。

ヤジロペー

豆で作るヤジロペーは古くからある面白いおもちゃである。豆をむだにつぶしてしまふのは勿體ないから、粘土で豆がはりに作つて見るとよい。粘土は少しかたい目に作り、大きはるんどう豆より少し大きい目にする。兩手と頭と三個同じ大きさのものでよいが、頭だけ少し大きく作つてもよい。兩手のヒゴは九センチ位の長さで、中心のヒゴは一センチ半位の長さでよい。作つてから一日、二日位おいてからおもちやにするとはれなくてよい。

この他に普通にもて遊ばれてゐる、カミテッポウ、紙ヒョーキなどしらす／＼のうちにいろ／＼と工夫されて幼児たちを樂しませてゐるのであるが、簡単な是等のおもちやの中にも考へいたれば科學的なよい材料が多いのである。たゞこれを如何に幼児たちに取扱ふかといふ點に一考を要するのである。

誘導保育

菊池ふじの

双六

ひきつゞき製作いたします。

かるた

昔から、双六とかるたは、お正月とは、きつてもきれないつながりがあります。双六製作といつしよに、一方では、かるた作り